

第10回 小牧市まちづくり推進計画審議会 議事録

日 時	令和2年1月24日(金) 15時30分～16時20分	
場 所	小牧市役所本庁舎 6階601会議室	
出席者	<p>【委員】(名簿順)</p> <p>稲垣 喜久治 小牧市社会福祉協議会 会長 倉知 日出美 小牧市女性の会 副会長 小柳 松夫 小牧市区長会 連合副会長 鈴木 義久 小牧商工会議所 副会頭 水谷 幸一 連合愛知尾張中地域協議会 副事務局長 伊藤 博美 椙山女学園大学 教授 代田 義勝 長崎県立大学 教授 長江 美津子 名古屋経済大学 特任教授 宮脇 淳 北海道大学 教授 市川 紀六 一般公募者 一戸 貢 一般公募者 伊藤 淳子 一般公募者 関谷 政夫 一般公募者 坂東 益子 一般公募者 舟橋 精一 一般公募者</p> <p>【事務局】</p> <p>石川 徹 市長公室次長 入江 慎介 地域協働担当次長 長尾 正人 総務部次長 竹内 隆正 地域活性化営業部次長 林 浩之 市民生活部次長 伊藤 俊幸 健康福祉部次長 櫻井 克匡 こども未来部次長 前田多賀彦 建設部次長 鵜飼 達市 都市政策部次長 梶田 達人 上下水道部次長 林 泰博 市民病院経営企画室主幹 高木 大作 教育委員会事務局次長 松永 祥司 教育委員会事務局次長 高橋 博之 副消防長 伊神 彰 消防署長 船橋 嘉成 会計管理者 小塚 智也 市長公室長 駒瀬 勝利 市長公室 秘書政策課長 舟橋 朋昭 市長公室 行政経営課主幹 安藤 誠 市長公室 秘書政策課市政戦略係長</p>	
欠席者	<p>井戸 茂治 小牧市小中学校 PTA 連絡協議会元味岡中学校 PTA 会長 佐藤 君治 小牧青年会議所 直前理事長 秦野 利基 小牧市民活動ネットワーク 代表理事</p>	

	加藤 武志 中京大学 講師 柴田 謙治 金城学院大学 教授
傍 聴 者	12 名
配付資料	【資料1】パブリックコメント実施結果 【資料2】提出された意見と市の考え方について 【資料3】市議会からの意見と市の考え方について 小牧市まちづくり推進計画（案）

内容

1. 開会

【秘書政策課長】

定刻となりましたので、ただいまより、第10回小牧市まちづくり推進計画審議会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただき、まことにありがとうございます。本日の議題につきましては、お手元の次第のとおりであります。

それでは、次第に基づき、進めさせていただきます。

2 市民憲章唱和

3 会長挨拶

皆さん、こんにちは。本当にお忙しいところ、委員の皆様、行政の皆様もお集まりいただきありがとうございます。委員の皆様におかれましては、当初は昨年秋頃までというお願いで委員にご就任いただいたわけですが、そのあと、委員の皆様には真摯にご議論をいただいて中身を精査する中で、今日に至ったということでございます。運営上、少しご負担が多くなったことについてはお許しいただきたいと思っております。このあと、パブリックコメントあるいは議会の皆様からいただいた意見、こういったものにつきまして事務局からご説明をいただき、本日は最終的に答申案を確認していただきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

4 議事

【秘書政策課長】

ありがとうございました。それでは、次第4議事に入りますが、これからの進行につきましては、宮脇会長をお願いします。

【宮脇会長】

それでは、ここからは、私が進行させていただきます。まずは、本日の進め方について説明させていただきます。はじめに、議事ということで、パブリックコメント実施結果と市議会からの意見について事務局より報告していただき、それに基づきまして修正した計画案について説明していただきます。委員の皆様には、その内容についてご確認いただき、最終的な計画案としてご了承いただけましたら、最後に本審議会からの答申をしたいと思っております。それでは、次第4の議事について、事務局からの説明をお願いします。

【秘書政策課長】

それでは、資料に基づき、説明させていただきます。

まず、資料1をご覧ください。パブリックコメントの実施結果です。12月16日から1月14日において、市ホームページをはじめ、市役所、市民センター、コミュニティセンターにおいて、計画案に対するパブリックコメントを実施しました。その結果、2名の方から2件のご意見の提出がありました。

次に、資料2をご覧ください。提出のありました意見とそれに対する市の考え方です。ご意見をいただいた2件は、いずれも市政戦略編の記載に関するご意見で、「西部地区にかかる記載がないことから、市全体のバランスをとる必要があるのではないか」というご意見です。市の考え方としましては、「小牧市の発展のためには、市域全体のバランスをとりながら、総合的に施策を推進していく必要があると考えています。当然、西部地区についても整備を進めていく考えであります。より分かりやすいよう、西部地区における取組みについても追記いたします。」としています。なお、このご意見を踏まえた計画案の修正に関しましては、このあと報告させていただきます市議会からの意見とあわせてご説明させていただきます。以上が、パブリックコメントにお

いて提出された意見と市の考え方になります。

次に、資料3をご覧ください。市議会からの意見と市の考え方についてです。パブリックコメントの実施に合わせて、市議会からも計画に対する意見をいただいておりますので、その内容及び市の考え方についてご報告いたします。左から、No、該当箇所、市議会からの意見、市の考え方となっております、ご意見を踏まえ、計画案を修正したものについては、網掛けをしております。修正した計画案についてもあわせて説明させていただきますので、お手元に「小牧市まちづくり推進計画（案）」もご用意ください。それでは、左にある番号の順に説明させていただきます。まず、1から6は計画全体に関してご意見をいただきました。1は、「市政戦略編を確定してから分野別計画編を検討」というご意見ですが、「トップダウンである市政戦略編と、ボトムアップである分野別計画編、自治体経営編の両輪で進めていくものであり、どちらが後先というものではありません」としています。次に、2は、「基準値や手段等が最新情報でない」とのご意見ですが、「現況と課題や手段等は、出来るだけ最新の状況を記載させていただいており、さらに令和元年度以降の状況については毎年報告をさせていただく予定」としています。3は、「市政戦略編において、SDGsの17の目標をすべて網羅すべきでは」とのご意見ですが、「市政戦略編においてSDGsのすべての目標の網羅は現時点ではできておりませんが今後戦略を進めていく中で網羅できていない目標に関連が出てきた際には追加で表示をさせていただきたい」としています。4は、「市政戦略編と分野別計画編との相関関係をわかりやすく表現」という意見を頂いておりますが「今後概要版を作成する中で工夫をしていきたい」と考えております。5は「各施策とSDGsの目標との相関関係の一覧表を」との意見を頂いておりますが、これについては、作成をしていく予定です。6は「参考データは可能な限り掲載」をとのご意見ですが、今回の計画で現況と課題ができるだけわかりやすくなるよう、新たに掲載させていただいたものです。図書の制約上、ページ数に限りもあることからご理解を頂きたいとしています。

2ページをご覧ください。ここからは市政戦略編に関するものになります。7は、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を」というご意見ですが、同様に9でもいただいております、この2つのご意見に対しましては、「序章における「7. SDGsの推進」において「誰一人取り残さない」という内容の記載を追記」させていただきました。具体的な追記内容につきましては、恐れ入りますが、計画案の20ページをご覧ください。SDGsのロゴの上ですが、「“誰一人取り残さない”持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指します。」という内容に修正させていただきました。次に、8は、「重点事業1-2の指標」についてご意見を頂きました。「基準値の96.9%は、愛知県の割合97.9%に比べて大きな乖離はなく、算出方法も同様となっております。なお、未受診者の対応については、分野別計画編の「健康づくり」で未受診児について、全数把握の旨の記載を、あわせて、妊娠期から子育て期までのすべての保護者が相談できる体制づくり取り組んでいく考え」としてしています。9は、前述7と同様、10は「都市宣言について」であります。11は、「すべての市民が積極的に健康づくりに取り組み、互いに支え合う地域づくりを目指していく方針を示したものであり、今後、内容等につきましては十分に議会の意見もうかがっていく予定です」としてしています。11は、「プレミアム商品券」についてであります。12は「市としては現状のネットワーク維持に注力していきたいと考えている」としてしています。

3ページをご覧ください。12は、「西部地区について」であります。先ほどのパブリックコメントに対する市の考え方と同様であり、計画に追記をさせていただいております。具体的な追記内容につきましては、計画案の28ページをご覧ください。戦略3を説明する文章の中に、「あわせて西部地区についても、道路整備や渋滞緩和などに取り組みます。」という内容を追記させていただきました。13は「中心市街地の来訪者数」ですが「施設整備にあたってのそれぞれの目標数値の合計」としてしています。14は「バイオマス発電等」についてであります。基本施策「環境・エネルギー」の展開方向2及び基本施策「商工業」の展開方向2において記載しております。ご指摘のような各種エネルギーに関する支援については、企業の導入状況等を注視しつつ、より

効果的な支援について調査研究してまいります」としています。15は前述11のとおりです。

4ページからは分野別計画編で、16は、生活安全に関して、「年代別の具体的な取り組みを明示」とのことですが「より具体的な取り組みについては、今後事業を展開していく中で検討」してまいりたいと思います。17は、多文化共生で「庁内組織が横断的に連携」という内容の記載について、計画に追記をさせていただいております。具体的な追記内容につきましては、計画案の35ページをご覧ください。現況と課題の中段あたりに、「令和元年8月に設置した多文化共生推進室を中心に、庁内組織が連携して取り組んでいく必要があります。」という内容を追記させていただきました。18は、「健康寿命」についてですが「資料編の用語解説において記載する予定」であります。19は、「指標の設定内容」ですが「罹患率の高い大腸がん、乳がんについて」まずは設定したものであるとしています。20は「がん教育」についてですが、「小学6年、中学3年で、さまざまな生活習慣病とともにがんの予防や仕組み、種類についての学習を行っているところであり今後もこれまでの実践を継続していく考えであり、基本施策「学校教育」において包含されているとしています。21は、「保育士の質の向上」についてですが「当然重要なものであり、展開方向2の手段において記載」しているとしています。22は、「待機児童」の関係ですが「平成31年4月1日時点は0人でありましたが、保育園等への入園の申し込みは常にあることから、常に待機児童を発生させないための取り組みを継続していくこと、あわせて、待機児童には含まれないが保育を希望している児童に関する対応につきましては、実態把握等を行いながら適切に対応していきます」としています。

5ページからは自治体経営編になります。23は、協働・情報共有に関して、「ICTを活用しつつ、情報共有を推進します」と記載してはというご意見ですが「手段におけるインターネットやSNSなどにICTの利活用が含まれる」としています。24は、行政サービスで「選挙」についてですが「行政サービス全体として取り組む内容」であるとしています。なお、選挙における投票しやすい環境の整備については、投票率の向上のためにも積極的に取り組んでいく考えであります。25は、「市民レポートシステム」の関係ですが、「市民の認知度が上がることで、件数も必然的に増えていく」としています。26は、行政運営に関して「会計年度任用職員」についてですが、「行政サービスの維持・向上については、正規職員も含めた職員全体の中で、展開方向1の各手段により取り組んでまいります」としています。27は、「業務委託」に関してで「別途規定する「民間委託の推進に関する指針」に基づき、市民サービスの維持または向上、経費節減や事務の効率化、行政責任の確保などの観点から判断」していくとしています。28は財政運営で「基金」に関してですが「基金運用（基金の適切な活用、公金運用の推進）については、展開方向3の手段で取り組んでいきます」としています。以上が、市議会からいただいたご意見と、それに対する市の考え方となります。

なお、本日お配りしている計画案ですが、今ご説明した修正箇所以外にも、文言の修正等については事務局にて調整させていただいておりますので、その点、ご承知おきください。事務局からの説明は以上となります。よろしく願いいたします。

【宮脇会長】

ありがとうございます。審議会といたしましては、12月にパブリックコメント、それから市議会からご意見をいただくべく、計画案につきましてご了解をいただきました。ご了解をいただきました計画案につきまして、パブリックコメント及び議会からのご意見をいただいて、今事務局から、ご意見そして対応の説明がありました。今事務局から説明のありました点につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

【小柳委員】

パブリックコメントは少し数が少ないかなという思いがありますが、さらに市議会の皆様のご意見も聞くなど手順を踏んでいますので、私としてはこの修正内容で了としたいと思っております。これまで参加させていただきまして、計画を推進するということについて、私たちが実戦部隊とし

で努力していきたいと思っています。

【宮協会長】

ありがとうございます。ほかの委員の皆様からご発言はございますでしょうか。

それでは、この計画案にて審議会として了承し、答申することとしたいと思います。ありがとうございました。それでは、この計画案で答申を行います。審議会における審議は以上で終了しました。委員の皆様におかれましては、本当にこれまでありがとうございました。

一旦、進行上事務局へお戻しいたします。

【秘書政策課長】

ありがとうございました。ただいまご了承いただきました小牧市まちづくり推進計画案をもって答申をいただきたいと思っております。少し準備がありますので、暫時休憩という形としたいと思います。16時10分頃再開という形にしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

～休憩～

【秘書政策課長】

それでは大変お待たせしました。準備が整いましたので、再開させていただきたいと思っております。審議会を代表して、宮協会長より山下市長へ答申をお願いしたいと思っております。宮協会長、山下市長、その場でご起立をお願いします。

それでは、宮協会長、よろしくお願ひします。

【宮協会長】

小牧市まちづくり推進計画について、平成30年10月17日付けで諮問のありました小牧市まちづくり推進計画（案）について、これまで10回にわたる会議を開催し、基本計画の策定に関する事項について検討を重ねてまいりました。これまでの提言は、貴市でご検討いただき、まちづくり推進計画（案）に反映されてきております。計画の決定にあたりましても、本審議会の提言を十分に尊重していただくようお願いし、ここに小牧市まちづくり推進計画（案）を別添のとおり答申いたします。よろしくお願ひいたします。

【小牧市長】（答申を受ける）

【秘書政策課長】

ありがとうございました。ご着席ください。

それでは、ここで市長よりお礼のあいさつをさせていただきます。

【小牧市長】

皆様こんにちは。小牧市まちづくり推進計画審議会の第10回の会議ということでございます。一昨年の10月からこれまで長きにわたりまして皆様に熱心にご議論いただきましたまちづくり推進計画につきまして、宮協会長より答申を頂戴したところでございます。熱心なご議論につきまして、皆様方に大変ご尽力いただきました。深く感謝申し上げる次第でございます。本当にありがとうございます。当初、事務局の案では8回程度の審議会の開催を予定していたようですが、最終的には本日を含めて合計10回のご審議をいただいたとのことです。また、1回1回の審議会においても、本当に丁寧に審議をいただけたと受け止めているところでございます。これもひとえに、審議会長、部会長、そして委員お一人お一人のご理解とご協力の賜物でございまして、小牧の未来をどのように描くのか、真剣にお考えいただき、ご意見を頂戴してまいりましたことに、あらためて感謝申し上げますところでありませう。

さて、頂戴しました答申の「まちづくり推進計画」は、ご承知のとおり、小牧市自治基本条例に基づく初めての計画であり、小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現することを市民共通の目標としながら、そのための市の最上位計画、まさにまちづくりの第1次基本計画であります。頂いた答申を尊重いたしまして、今後はこのまちづくり推進計画に基づき、持続可能な「活力あ

る幸せな高齢社会」を市民の皆様とともに実現し、“誰一人取り残さない”多様性と包摂性のある社会を築いてまいります。そして、審議会においていただいた様々なご意見・ご提言を参考にしながら、全ての市民の皆様が、笑顔で将来に夢を描き、挑戦できる小牧市、そして、「住みたい、住み続けたい」将来にわたって輝き続ける、魅力と活力あふれる夢ある小牧市の創造に向けて、取り組んでまいり所存でございます。

重ねまして、皆さま方のご尽力に、深く敬意と感謝を申し上げますとともに、しっかりと皆さまのご期待に応えられるように、市政を推し進めてまいりますこととお誓い申し上げます。御礼のあいさつとさせていただきます。長い期間ではありましたが、本当にありがとうございました。

【秘書政策課長】

ありがとうございました。続きまして、宮協会長からご挨拶いただければと思います。よろしく申し上げます。

【宮協会長】

本当に委員の皆様、長い間ありがとうございました。また、部会長にも本当にお世話になりました。ありがとうございました。そして今、市長の方からもお話がありましたが、事務局の皆さんにも大変なご負担をおかけしたと思っております。また、事務局を通じて行政の皆さんにも大変ご負担をおかけしたこと、この場をお借りしてお詫びしたいと思っております。ただ、その分だけ今回のまちづくりの計画につきましては、質・体系的にも非常に素晴らしいものが出来上がっているというふうに受け止めさせていただいております。この審議会始まる時にもご挨拶させていただきまされたけれども、当然のことですが、計画というのは作っておしまいということではなくて、この計画というものを少しでも実現を結び付けていくということがこれからの大きな流れだと思っておりますし、今市長の方からもそのことにつきまして力強いご発言があったと思っております。この審議会は今回で終了するわけでございますが、我々委員もこうやって参画させていただいたわけですから、市民、市民でないに関わらず、ぜひ小牧市についてみていただきたいと思いますというふうに思っております。温かい目で見えていただいて、我々が議論した計画が今後どうなっていくのか、非常に楽しみに見させていただきたいというふうに思っております。本当にありがとうございました。

【秘書政策課長】

ありがとうございました。

今後の予定ですが、2月中旬の記者会見にて計画を公表する予定です。あわせて、計画図書の製本作業を進め、3月末には、製本した本が出来上がる予定でございます。皆様にも、製本したものを送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、お話があったとおり、今後はいかにまちづくりにつなげていくかということが大切かと思っておりますので、市としてもあらゆる機会を通じて、計画に基づきながらまちづくりに努めていきたいと考えております。

最後に、委員の皆様には、大変長い期間にわたりご審議いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。また、事務局といたしましても、行き届かぬ点がございましたこと、お詫び申し上げるとともに、委員の皆様にはご理解ご協力いただき、重ねてお礼を申し上げます。

それでは、これもちまして、小牧市まちづくり推進計画審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上